

美術科 2 学年 年間指導計画 特別支援学級 A さんへの支援計画 (全 35 時間)

月	単元名 (題材名など)	時	指導項目 (小単元名など)	指導目標 (つきたい力)	項目別評価規準(B評価)				A
					Aの個別評価規準(の無い項目はB規準と同じ)				
					親しみを持ち、進んで表現し、創造しようとする態度	豊かに発想し、創造的な表現を構想する能力	造形感覚を生かし、創造的に表現する技能	美術作品などのよさや美しさなどを鑑賞する能力	個別の支援及び配慮事項
4	オリエンテーション	1		<ul style="list-style-type: none"> ・学習の決まりを確認し、仲間とともに作り出す授業の大切さを確認することができる。 ・美術の学習をどのように進めていくのか見通しがもてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“美術の授業をするにあたり大切にしたいこと”の共感できるところに線を引き、美術への心構えをもつことができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・座席の位置が分かったが確認する。 ・学習計画表で見通しを持たせる。
5	立体感のある不思議な世界 (平面構成：デザイン) 全19時間	3	作品鑑賞 4つの基本形の練習 <ul style="list-style-type: none"> 等角投影 斜投影 一点透視 二点透視 	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩の作品を鑑賞し、制作意欲を持つことができる。 ・すべての作品が4つの基本形から成り立っていることを理解して描けるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・4つの基本形を手順にそって描くことができる。 三角定規、長めの真定規を使用 4つの基本形を見本の下に描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の確認。三角定規などの使い方を数学で予め学習しておく。 ・基本形を練習できる学習プリントを使用。 	
			テーマ決め	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような世界が描きたいか願いを明確にし、テーマを決定することができる。 アイデア 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の描きたい世界について考え、具体的な言葉でテーマを決定させることができる。 例文を見て、自分のテーマを書くことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを文で表現するのが難しいので、例文をテーマの用紙に載せておく。 	
			アイデアスケッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・決定したテーマをもとに4つの基本形をもとにアイデアスケッチをフリーハンドで描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との交流でよいところを学んだり、試行錯誤したりしながらより自分の願いの実現できるアイデアスケッチを考えようすることができる。 基本形を使って、自分のテーマに合うアイデアスケッチを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本形の見る角度を変えたり、大きさを変化させたり、組み合わせたりしながら、アイデアスケッチを練ることができる。 基本形の大きさを替えたり、組み合わせをしたりしながら、アイデアスケッチをおおまかに描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチを描くことができる学習プリントを使用。 		
			アイデアスケッチの色塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がったアイデアスケッチを色鉛筆で着色し、色合いを決める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・色の持つ効果を考え着色することができる。 ・情景が引き立つ広さを考えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・色鉛筆を準備させる。 	
9		2	ボードへの下描き	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチをもとにボードに鉛筆で下描きを美しく描くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ボードの方眼紙や斜線を活かし、能率よく下描きを進めることができる。 方眼紙を活かし、下書きを描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定規を使って長さや角度を正確に美しく平面構成を描くことができる。 定規を使って正確な平面構成を描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・線の入れ方が間違っていないか確認する。 	

10	10	10	10	<p>同じ色でも明度・彩度を変化させることにより、奥行きや立体感を表現することができる。</p> <p>混色させながら自分の表現したい色を作り出すことができる。</p> <p>着彩の手順を工夫することにより、能率よく美しく表現することができる。</p> <p>縁取りをしながらムラなく丁寧に着彩することができる。</p>	<p>・バックなど奥のものから着彩し美しく仕上ることができる。</p> <p>・細かなところは後から塗り美しく仕上ることができる。</p> <p>奥のものから細かいところへ丁寧に着彩することができる。</p>	<p>・明度や彩度の効果を活かし、立体感や奥行きを表現することができる。</p> <p>・混色により、作品に効果的な色を作ることができる。</p> <p>・縁取りをしながらムラなく丁寧に着彩することができる。</p> <p>縁取りをしながら丁寧に着彩することができる。</p>	<p>・混色させたものの色を試し塗り用の紙に塗らせるようにする。</p> <p>・時間内に仕上げるができなかった場合は、部活時間などに補習学習をする。</p>	
		11	11	<p>・自分の作品を鑑賞し、どんなところを工夫したか、どのように自分の願いを表現したかなど、具体的な言葉で表現し、書くことができる。</p> <p>・仲間の作品を鑑賞し、どのような願いが込められているのかなどを考え、具体的な言葉で表現し書くことができる。</p>	<p>・自分や仲間の作品を意欲的に鑑賞することができる。</p>	<p>・自分や仲間の作品を鑑賞し、感じたことを具体的な言葉で書き表すことができる。</p> <p>・自分や仲間の作品のよさを言葉で表すことができる。</p>	<p>・鑑賞会までに必ず作品が仕上がるように支援する。</p>	
		11	11	<p>鑑賞</p>	<p>検討中</p>			
12	12	12	12	<p>・作品に興味をもち、制作の意欲を高めることができる。</p> <p>・対象物の特徴や良さを感じ取り、スケッチすることができる。</p> <p>前、斜め、うら など</p>	<p>・家から野菜や果物を持参し準備することができる。</p> <p>腐りにくいもの・・・さつまいも、かぼちゃ、りんご、等</p> <p>自分で忘れずに持ち物を準備できる。</p>	<p>・野菜や果物をいろいろな方向から観察・スケッチし、立体感のあるものはあらゆる方向から捉えていくこの大切さを学ぶ。</p> <p>野菜や果物をいろいろな方向から観察・スケッチできることを知る。</p>	<p>・形の特徴を捉え、描くことができる。</p>	<p>・対象物になる野菜などの準備を確認する。</p>
		1	1	<p>・凸凹や丸みなどモチーフの特徴をとらえ、立体的に表現することができる。</p>	<p>・作りかけの作品が乾燥しないよう、濡れタオルをかぶせ、ビニール袋で密封し大切に保管することができる。</p>	<p>・モチーフを様々な角度から観察し、大きさ、ふくらみ、形の特徴を捉え、大まかな特徴を表現することができる。</p>	<p>・乾燥しないように密封できたか確認。</p>	
		1	1	<p>・粘土へらなどの使用した工具はバケツの中できちんと洗い片付けることができる。</p>	<p>・製作途中の作品の細部が壊れないよう、工夫して保管することができる。</p>	<p>・モチーフを様々な角度から観察し、表面の質感、傷、へたの部分などを工具やタオルや爪楊枝などを使って表現することができる。</p>	<p>・普段から後片付けなどを進んで行うT.Kのよさを認める。</p>	
		1	1	<p>・作品が速く乾燥するよう、作品の間隔をあけ、乾燥させ</p>	<p>・野菜や果物の表現に必要なものを持参し、制作に活かすことができる。</p>	<p>・モチーフを様々な角度から観察し、細部を整え完成さ</p>	<p>・仲間の表現方法から学び、制作に活かすこと</p>	
		12	12	<p>そっくり野菜・そっくり果物 (彫塑：粘土) 全12時間</p>				
		2	2	<p>1</p>	<p>形の形成 … 大まかな形の形成</p>			
		2	2	<p>1</p>	<p>形の形成 … 全体の形の形成</p>			
		2	2	<p>1</p>	<p>形の形成 … 細部の形成</p>			
		3	3	<p>1</p>	<p>形の形成 … 細部の形成</p>			

				ることができる。		せることができる。	ができる。	
	1	着彩 … 下地塗り	・色合いを観察し、効果的な手順で着彩ができる。 ・極力本物に近い色が出せるよう、鋭く観察し混色により色を作り出し着彩することができる。		・モチーフの表面の裏に隠れた色を想像し、下地の色として塗ることができる。 (下地の効果を知る)			・本人のみつけた色を尊重しながら、より本物に近くなる色をアドバイスする。
	2	着彩 … 表面の着彩			・表面の色を観察し、混色により色を作ることができる。	・表面を均一に塗るのではなく、色の違いを捉えながら着彩する。	・仲間の表現方法から学び、制作に活かすことができる。	・混色した色を直接塗らないで、試し塗りをするようにさせる。
	1	着彩 … 質感を意識した着彩				・質感を考えて、水の量を加減し、筆のタッチを工夫することができる。	・仲間の表現方法から学び、制作に活かすことができる。	・水の量を加減するよう声かけをし、アドバイスをする。
	1	着彩 … 細部の着彩				・へたや傷など、細部を観察し描き込むことができる。		・細部で描きこめるところをアドバイスする。
	1	仕上げの行程 (ワックス等)	モチーフの艶感を観察し、2つの塗料から適したものを選択し、仕上げの行程を行うことができる。	・仲間と協力し、能率よく作業を進めることができる。	・モチーフの表面の艶感をとらえ、艶消しニスや艶消しニスを選択することができる。			
	1	鑑賞会	・自分や仲間の作品を鑑賞し、どのような表現方法が効果的だったかを講評し合い、具体的な言葉で表現することができる。				・自分や仲間の作品を鑑賞し、感じたことを具体的な言葉で書き表すことができる。 ・そっくりにできあがった作品のよさを言葉で表現することができる。	・必ず作品を仕上げるように支援する。
鑑賞	1	検討中						